

介護保険事業計画<第7期>(令和2年度)進捗状況について【資料4】

1. 介護保険事業計画<第7期>概要

介護保険事業計画<第7期>は、平成30年度から令和2年度までを計画期間とし、「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた体制整備」「高齢者の暮らしを支える体制の充実」「市民参加と利用者の保護」「サービス提供体制の充実と介護給付の適正化」を柱として取り組みました。

2. 福生市の高齢者の状況

65歳以上人口:15,369人(令和3年7月1日現在) 高齢化率:27.2%
1号被保険者数:15,143人(令和3年3月末現在)

3. 福生市介護保険事業計画(第7期)状況一覧 (資料4)

■高齢者人口の推移(P.1)

令和2年度の高齢者人口、及び高齢化率は、計画値を上回りました。

■所得段階別被保険者数(P.2)

国は第6期介護保険事業計画(平成27～29年度)から、被保険者の負担能力に応じたきめ細かい保険料負担段階の設定を行うため、第1・第2段階の統合、特例第3段階、特例第4段階の標準化などにより、標準段階設定を6段階から9段階に見直しました。市ではこれに合わせてとともに、引き続き負担能力に応じた多段階設定を行い、第6期から所得段階を14段階に設定しています。

令和2年度の実績は、高齢化に伴う第1号被保険者の増加により、前年度比で254人の増となっています。

■要介護(要支援)認定者数(P.3)

要介護度別の認定者数は、高齢者人口の増加に比例し、増加しています。

■介護サービス利用者数(P.4)

高齢者人口の増加に伴い全体的にサービス受給者数は増加しており、区分別では、特に施設サービスの介護老人福祉施設の利用者数の増加が顕著になっています。

■居宅介護給付サービス等の利用延べ人数(P.5)

介護給付においては、訪問介護、居宅療養管理指導、福祉用具貸与の利用が多くなっています。また、施設系のサービスでは、介護老人福祉施設の利用が

議題説明 4

前年度より延べ367人、実人数で約30人増加しています。

■介護保険4施設(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院(平成30年4月創設))の要介護度別入所者数(P.6 上段)

前年度と実績を比較すると、要介護3及び4の入所者数が大きく増加しています。全体では、92人計画値を上回っています。

■認知症者割合((P.6 下段)

令和2年度の要介護認定申請件数1,626件のうち、日常生活の自立度がレベル2以上の認知症と判断された方の割合が57.6%となっています。

■介護給付費 計画及び給付状況(P.7)

介護予防福祉用具貸与(表の中段)は、実績値が計画を大きく上回っています。転倒予防、防止のための杖や手すり等の貸与が多いこと、また、要支援では基本サービスの対象外である特殊寝台の利用ケースが少しずつ増加しているため、給付費も増加しています。

介護給付費と、予防給付費を合わせた「1 総給付費」は、前年度の実績値と比較すると、約2億円の増加となっており、特に介護老人福祉施設の給付費で1億6百万円 10.0%の増加となっています。

「3 地域支援事業費計」では、介護予防・日常生活支援総合事業費、包括的支援事業・任意事業費共に、昨年実績を下回り、達成率も下がりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、通所サービスなどの利用を控える方が多かったことや、緊急事態宣言により介護予防教室等を休止したことが主な要因です。